

第54回 打つ手がないときに打つ手は???

コロナ禍は想定以上に長引き、特に北海道は想像できなかつたほどの「緊急事態」を迎えてしまいました。そのため、事業自体を休止したり、稼働していてもヒマを持てあます結果になっている事業所も多いと思います。

さて、歴史的に見て、どんな企業にも「浮き沈み」はありました。短期の景気変動もありますし、石油ショック、円高不況、バブル崩壊、リーマンショック・・・といった出来事のたびに、工場の稼働率がガタ落ちするといったことを繰り返してきたのです。

正社員中心の企業の場合、雇用調整で景気変動に対応するのは困難です。そこで一時的に余った労働力で行ったことは、「改善活動」でした。本メルマガでも「5S」「改善提案」「ヒヤリハット活動」「見える化」などをご紹介してきました。これらは常日頃から行うべきものでありますが、閑散時には特にじっくり取り組むことができます。

例えば、営業時間を短縮する代わりに、空いた時間で「ヒヤリハット報告会」を行う。工場を稼働しない日を決めて、その日はみんなで現場パトロールと「5Sミーティング」を行う。過去の売上データを分析して営業手法の研究会を開く。本メルマガで紹介したような書籍を使って「勉強会」を開く、などなどです。もちろん、利用者さんも職員さんも役員さんも合同です。そういう私も仕事が少ないときは特に勉強しています(・_・)。

こうしてヒマな間に力をつけ、モチベーションを維持しておけば、いずれ世の中が変わって忙しくなった時に高い生産性を上げ、工賃も向上してゆくことができるでしょう♪。